

発達障害のある子の遊びと発達 ～作業療法の視点を生かして～

講師：NPO法人コスモスの花 作業療法士 橋本陽子氏

日時：平成24年6月21日（木）午後7時～午後9時
場所：神栖市保健・福祉会館 2階 研修室
主催：社会福祉法人 神栖市社会福祉協議会
申込方法：申込書または電話にて6月18日（月）
までにご連絡下さい。



作業療法の「作業」とは、遊びや生活していくために行う「活動全て」のことをいいます。子どもの場合には、遊びを通して心と身体の機能を高めていきます。

子どもは自発的に遊ぶ中で、様々な技能を獲得していきます。遊びには、たくさんの発達要素が含まれており、遊び方には決め事がありません。作業活動を通して、熱中する・没頭するなどやめられないほどの楽しさを体験することは、脳や心にプラスの刺激を与えてくれます。

「楽しい!」「もう一回したい!」「やめられない!」などの欲求がもてることは、物や人を信頼することにもつながります。まずは、たつぱり人と環境とを信頼してもらうことが大切です。

また、どのような遊びにも感覚(入力)と作業活動・運動(出力)が含まれていますが、発達に気がかりがあるお子さんの場合、とくに感覚の入力の仕方を工夫するだけで、活動の成功感が高まります。

「自分でできたあ」「自分ってなかなかいいぞ!」という自尊感情こそが、遊びと人との関わりから得られる最高の宝物です。幼児期・学齢期に培われた自尊感情は生涯にわたって本人の心を支えていきます。

そこで、実際に遊びを通じて子どもの発達を促す取り組みを実践されている橋本作業療法士より、遊びの重要性や面白み、自尊感情の芽を大切にしたい関わり方、具体的な実践事例、そして保育園や幼稚園、家庭でもできる遊びと関わりを紹介して頂きます。

普段、保育で実践しているリトミックや指遊び、園庭での遊びがどのような感覚の育ちにつながっているのかを知ること子どもたちをより理解するきっかけになります。

保育者や教諭、子育て支援関係者、保護者など、子どもに関わる方々の参加をお待ちしております。



問合せ：神栖市社会福祉協議会 地域福祉推進センター 担当：三浦
電話：0299-93-0294 FAX：0299-92-8750
HP：kamisushakyo.com E-mail：mail@kamisushakyo.com